



Fukuoka Growth

05 人とモノのゲートウェイ

(Version1.2)

福岡の成長ポテンシャル

公益財団法人福岡アジア都市研究所

情報戦略室

後藤 太一

富山 尚久

山田 美里

福岡市には航路、空路、鉄道全てのターミナルが揃い、いずれも都心から近い位置にあります
また、都市高速道路が都心から広域道路ネットワークにダイレクトにアクセスしています

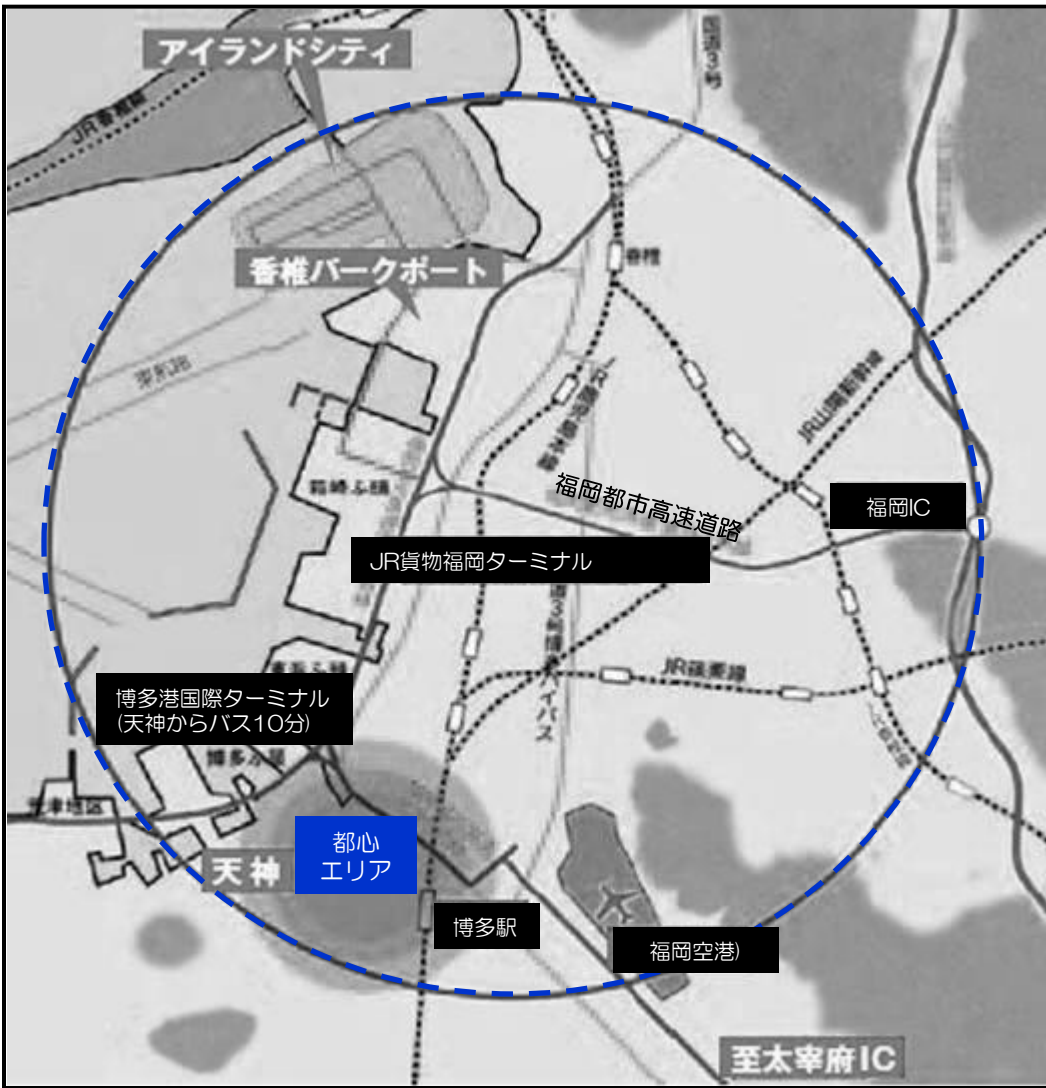
コンパクトなエリアに集中するターミナルは、目的地への移動や待ち時間のストレスを軽減し
ビジネスや観光など、効率的で充実した滞在時間を可能とします
アジアやヨーロッパの巨大なハブ空港、港湾と直通路線があり
福岡市は、日本と世界の価値を結びつける窓口として、重要な役割を担っています

博多港が1200年以上の「国際港」としての歴史を持つことは
福岡市が国際的な人流、物流の拠点として最適な場所であることの証左です
アジアが急速に成長する今、日本、ヨーロッパとアジアをつなぐ
戦略的な拠点として、福岡市は国内で最適な立地です

世界へのゲートウェイとして、異なる文化や価値をダイレクトに結びつけ
九州、日本の新しい可能性を切り開いていきます

コンパクトな都心エリアに集中する空路・航路・鉄道・高速道アクセス

半径5 km圏内の交通ターミナル



福岡市は、都心から近いコンパクトなエリアに陸路、空路、航路、鉄道のターミナルがあり、人もモノの移動の利便性に優れています。

九州の窓口として人流と物流の中心

出入国者数・貿易額(国内シェア・2012年)

日本
 出入国者数:55,441,070人(100%)
 貿易額:134.4兆円(100%)

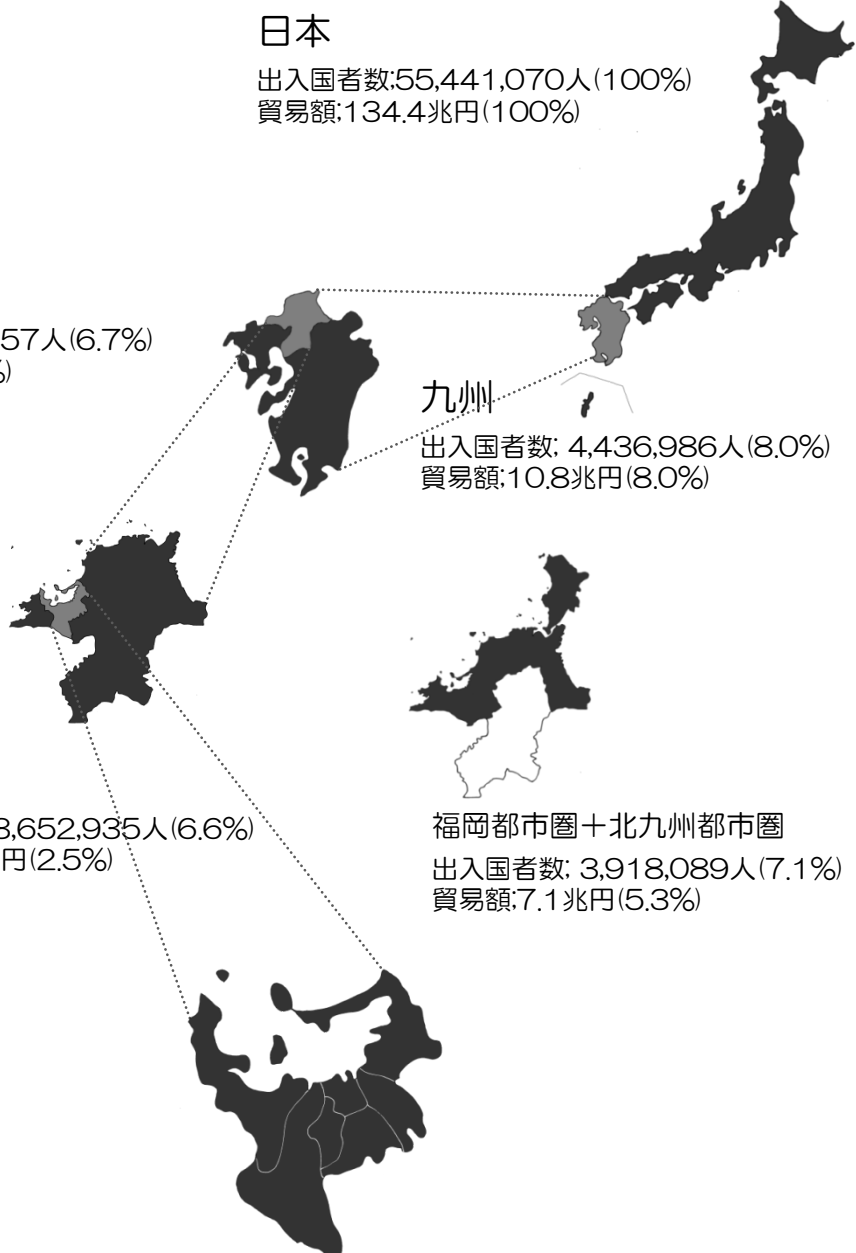
福岡県
 出入国者数: 3,730,757人(6.7%)
 貿易額:6.3兆円(4.7%)

九州
 出入国者数: 4,436,986人(8.0%)
 貿易額:10.8兆円(8.0%)

福岡市
 出入国者数: 3,652,935人(6.6%)
 貿易額:3.4兆円(2.5%)

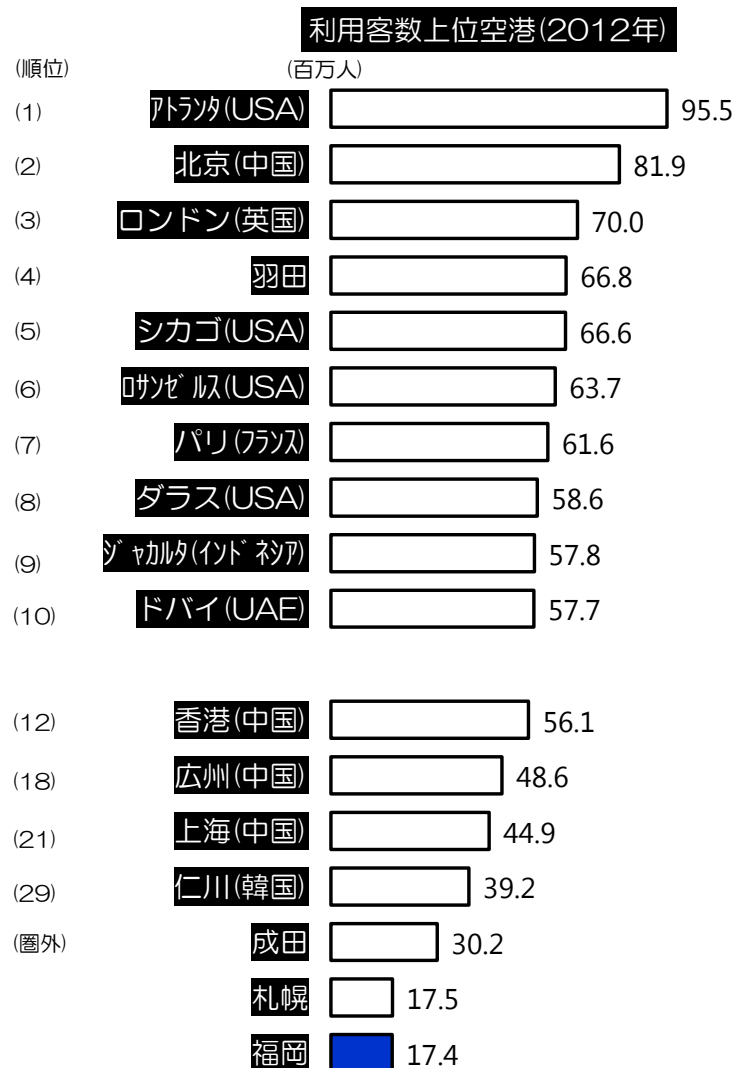
福岡都市圏+北九州都市圏
 出入国者数: 3,918,089人(7.1%)
 貿易額:7.1兆円(5.3%)

九州における海外との人やモノの流れは福岡市がその中心となっており、アジア・世界への窓口としての立地優位性を示しています。



資料：財務省「貿易統計」（2012年・速報値含む）、法務省「出入国管理統計」（2012年）
 *福岡都市圏：福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、糸島市、筑紫郡那珂川町、糟屋郡宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町
 *北九州都市圏：北九州市、直方市、行橋市、豊前市、中間市、宮若市、遠賀郡芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、鞍手郡小竹町、鞍手町、京都市苅田町、みやこ町、築上郡吉富町、上毛町、築上町、山口県下関市

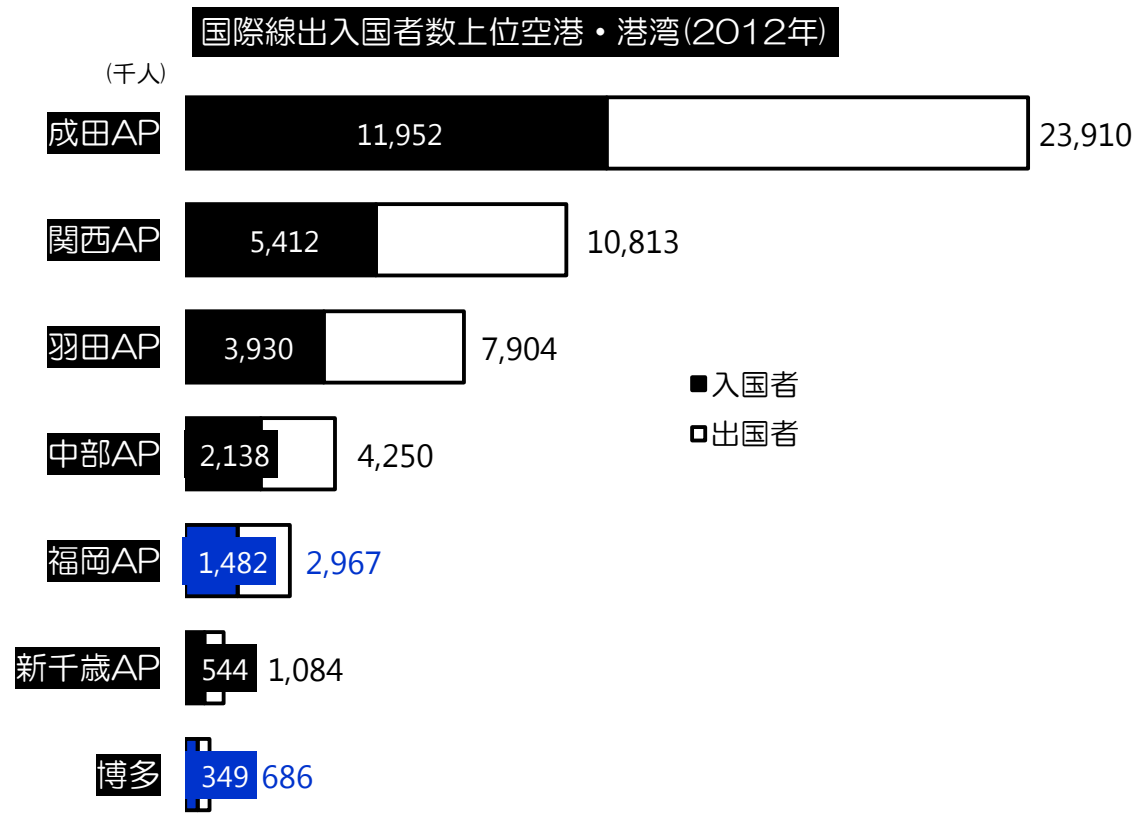
(人流) 利用客数上位空港は年間5000万人超



世界の空港利用客数上位は、いずれも5000万人超が利用しており、日本からは羽田空港が4位にランクインしています。そのほか北京やジャカルタ空港がランクインしているほか、中国や韓国の主要空港が上位30位以内に入っています。成田空港は圏外ですが、羽田空港とともに首都圏にあり、両者を合わせると上位空港を上回る利用者となります。

福岡空港は、約1740万人の利用となっています。

三大都市圏に次ぐ外国人入国空港・港湾

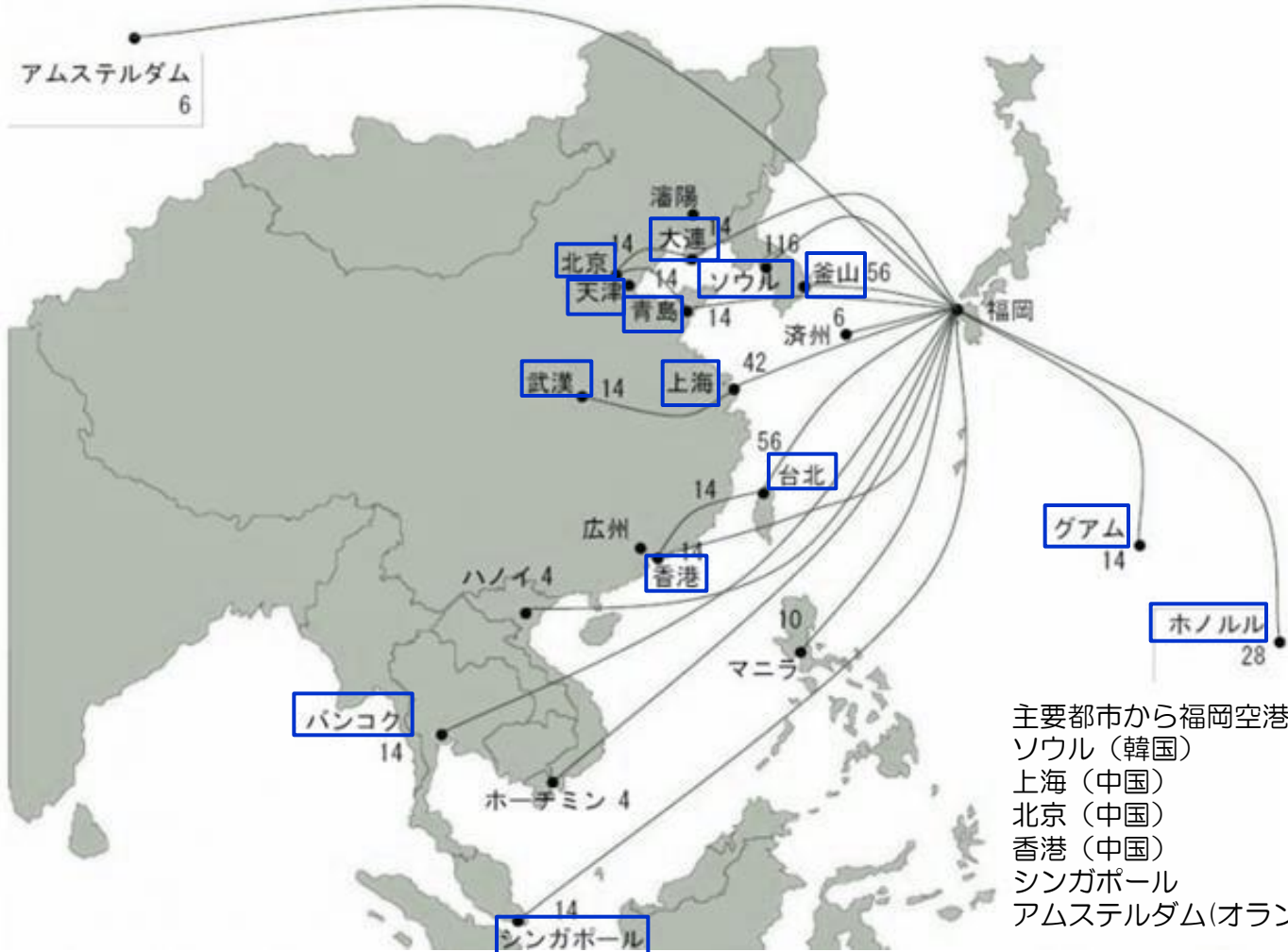


国内空港及び港湾の国際路線における出入国者数は、福岡空港が首都圏、関西圏に次ぐ多さであるのに加え、博多港も札幌・新千歳空港に次ぐ多さとなっており、海外と往来する人にとって、福岡市は空、海とも重要な窓口となっています。

資料：国土交通省東京航空局、大阪航空局(2012年速報)、出入国管理統計(2012年・法務省)

世界に広がる空路ネットワーク

福岡空港の国際航空路線と1週間あたり便数



主要都市から福岡空港への所要時間

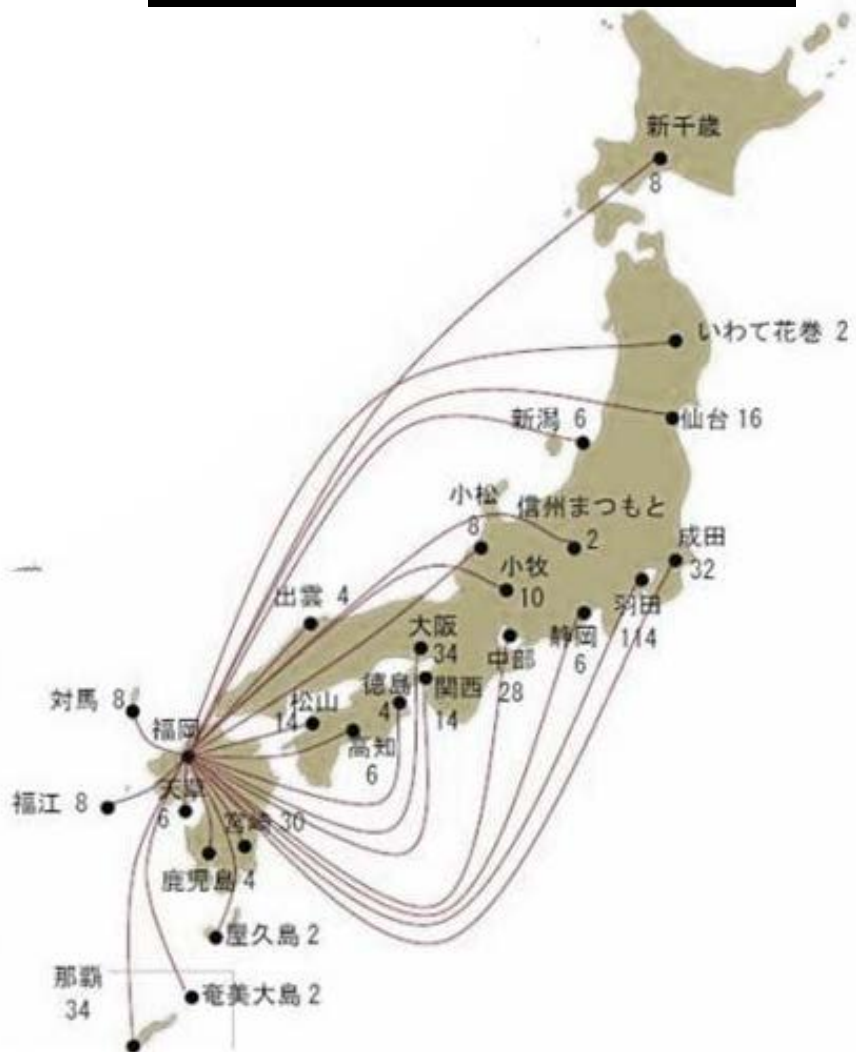
ソウル (韓国)	1:15
上海 (中国)	1:40
北京 (中国)	2:30
香港 (中国)	4:40
シンガポール	6:15
アムステルダム (オランダ)	10:40

都心から地下鉄で5分の世界でもまれに見る利便性の高い福岡空港からは、数多くの国際線が就航しており、数多くのデイリー便があるアジア各地域のほか、ヨーロッパのハブ空港であるアムステルダム空港にも直行便があります。

資料：福岡県空港計画課（2013年6月）
 *片道1便で計算
 *□は毎日運行路線

1日400便超が離発着

福岡空港の国内航空路線1日あたり便数



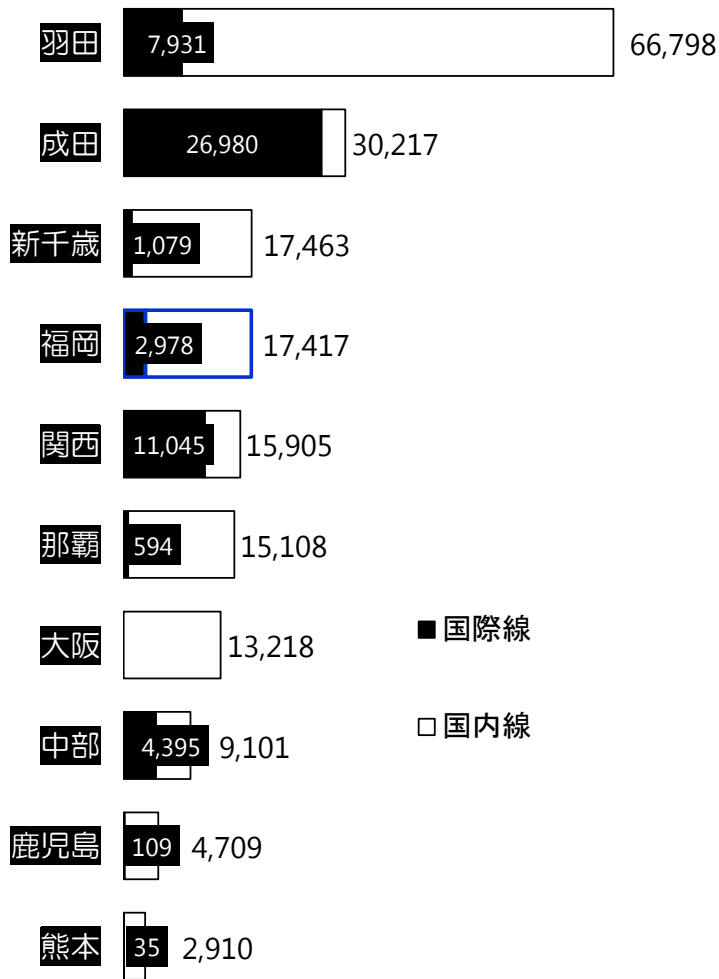
国内線は羽田、大阪などの主要路線をはじめ、国内のほとんどの地域への路線が就航しており、1日あたり400便を超える離発着となっています。

資料：福岡県空港計画課（2013年6月）
*片道1便で計算

利用客数国内4位

利用客数上位空港(2012年)

(千人)



福岡空港は、年間利用客数は国内4位となっています。

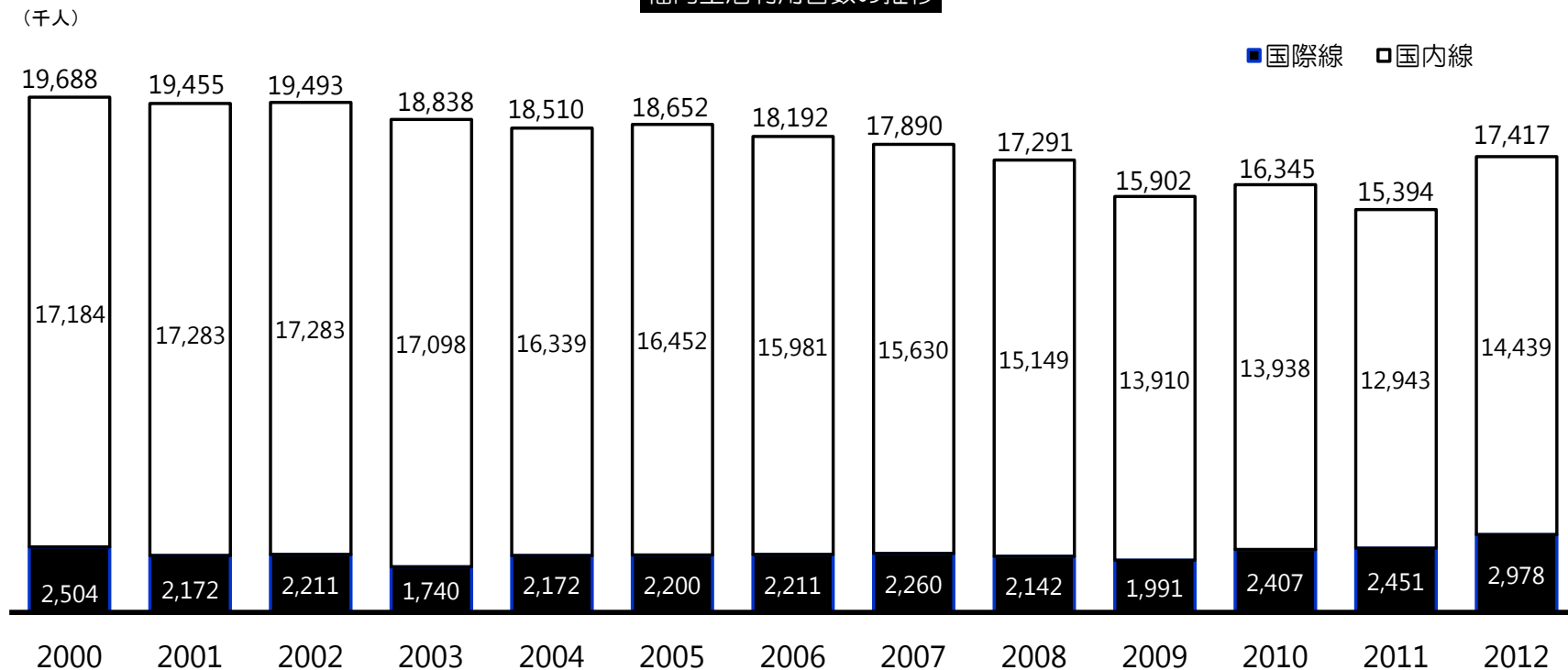
資料：国土交通省「空港管理状況調書」

*2012年は速報値

*離発着回数2011年1位羽田379,670回、2位成田184,758回、3位福岡139,106回（資料福岡県）

減少傾向から増加に転じた利用客数

福岡空港利用客数の推移



福岡空港の利用客数は、使用機体の中小型化の流れなどを受けて、国内線ではやや減少傾向にありましたが、2012年は再び増加。今後は、既に一部乗り入れが始まっているLCC*の増加や滑走路の増設計画など、さらに離発着数の増加、それともなう利用客数の増加が見込まれます。

資料：国土交通省「空港管理状況調書」

*2012年は速報値

*LCC:ローコストキャリア(Low Cost Carrier)の略称で、効率的な運営により低価格の運賃で運航サービスを提供する航空会社

国内外の旅客結節点である博多港

国際航路(博多-釜山)

釜山
博多
Port of Hakata

離島航路

対馬
吉岐
Iki
博多
Hakata
Goto
五島

湾内・近距離航路

小呂島
玄海島
志賀島
海の中道
能古島
百道
博多

区分	行先	1日便数	所要時間
国際航路	釜山	1	5:30
		7JF	2:55

区分	行先	1日便数	所要時間
離島航路	吉岐・対馬	5	4:35
		5JF	2:15
	五島	1	9:00

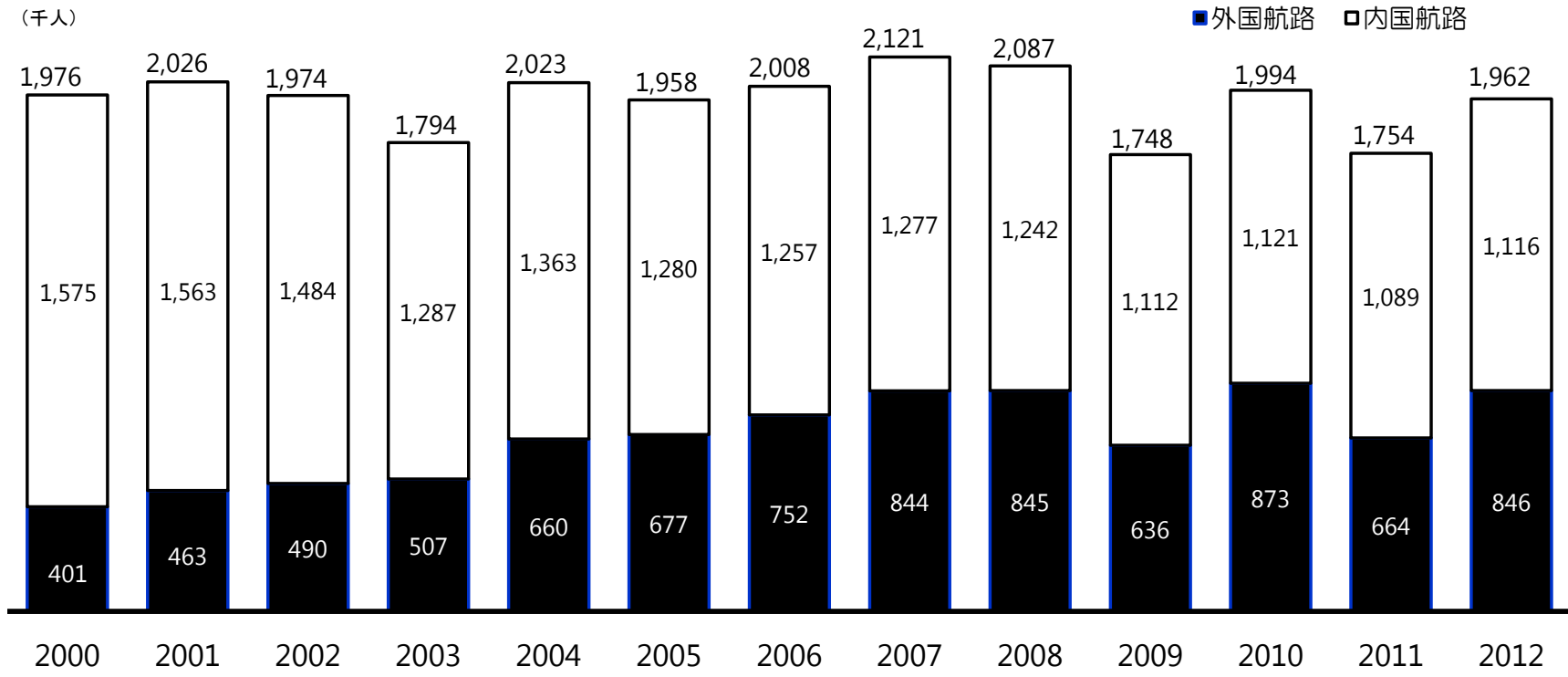
区分	行先	1日便数	所要時間
湾内 近距離 航路	博多-海の中道	7	0:15
	博多-志賀島	16	0:33
	百道-海の中道	7	0:15
	姪浜-能古島	23	0:10
	博多-玄海島	7	0:35
	姪浜-小呂島	2	1:05

海の玄関口である博多港は、国内でも数少ない海外との定期旅客便が就航しており、国内で唯一ジェットフォイル便による国際路線があります。釜山へのジェットフォイル便は1日7往復あり、最速2時間55分で結ばれています。

資料：福岡市港湾局（2013年8月）
*便数JFはJetfoil
*所要時間は最短

外国航路として定着

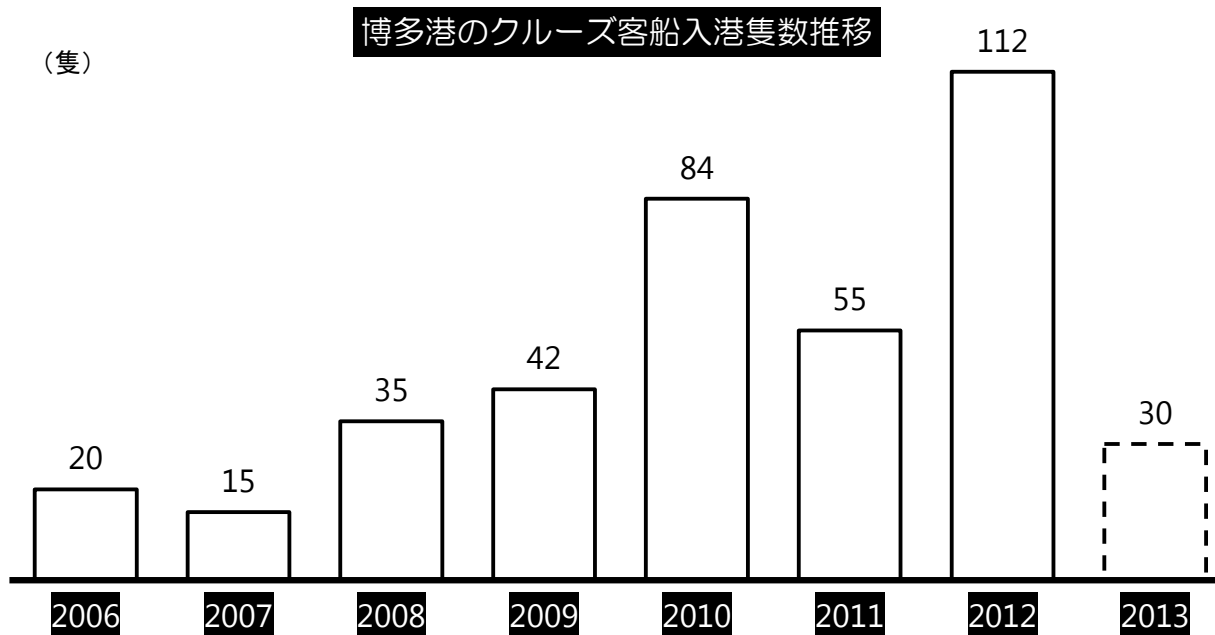
博多港利用客数の推移



日本一の国際航路（釜山路線）利用者数は、経済情勢や国際情勢、為替レートなどの影響を受けますが、一旦減少しても回復が早い傾向にあり、両都市を結ぶ足として定着していることがうかがえます。

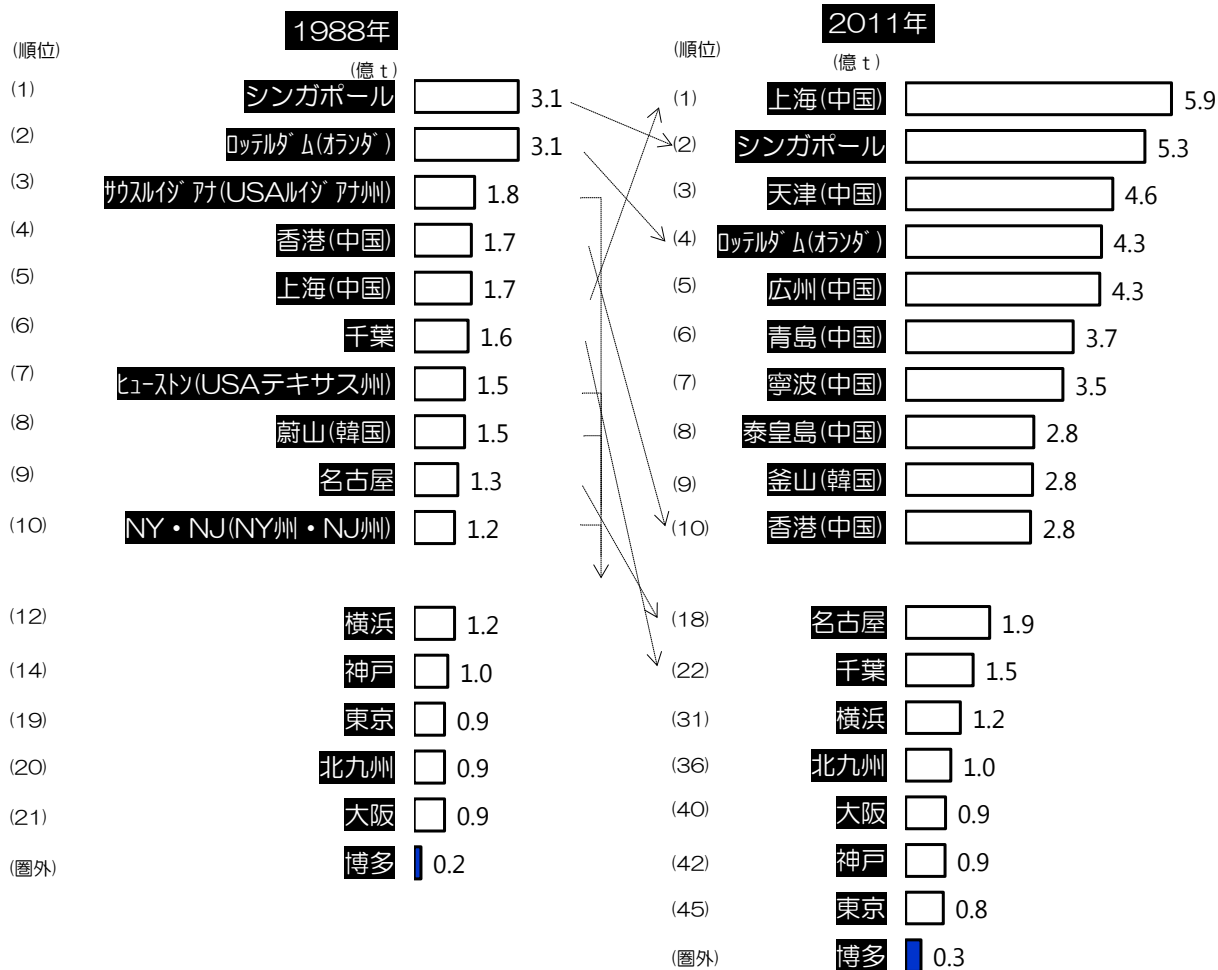
資料：博多港統計年報
 *2012年は速報値

海外クルーズ船寄港数国内1位



博多港は、一度に数千人が乗船する大型のクルーズ船寄港地として国内で最も多く利用され、国際情勢などに左右されるものの、ニーズの多様化を受けてその数は増加傾向にあります。

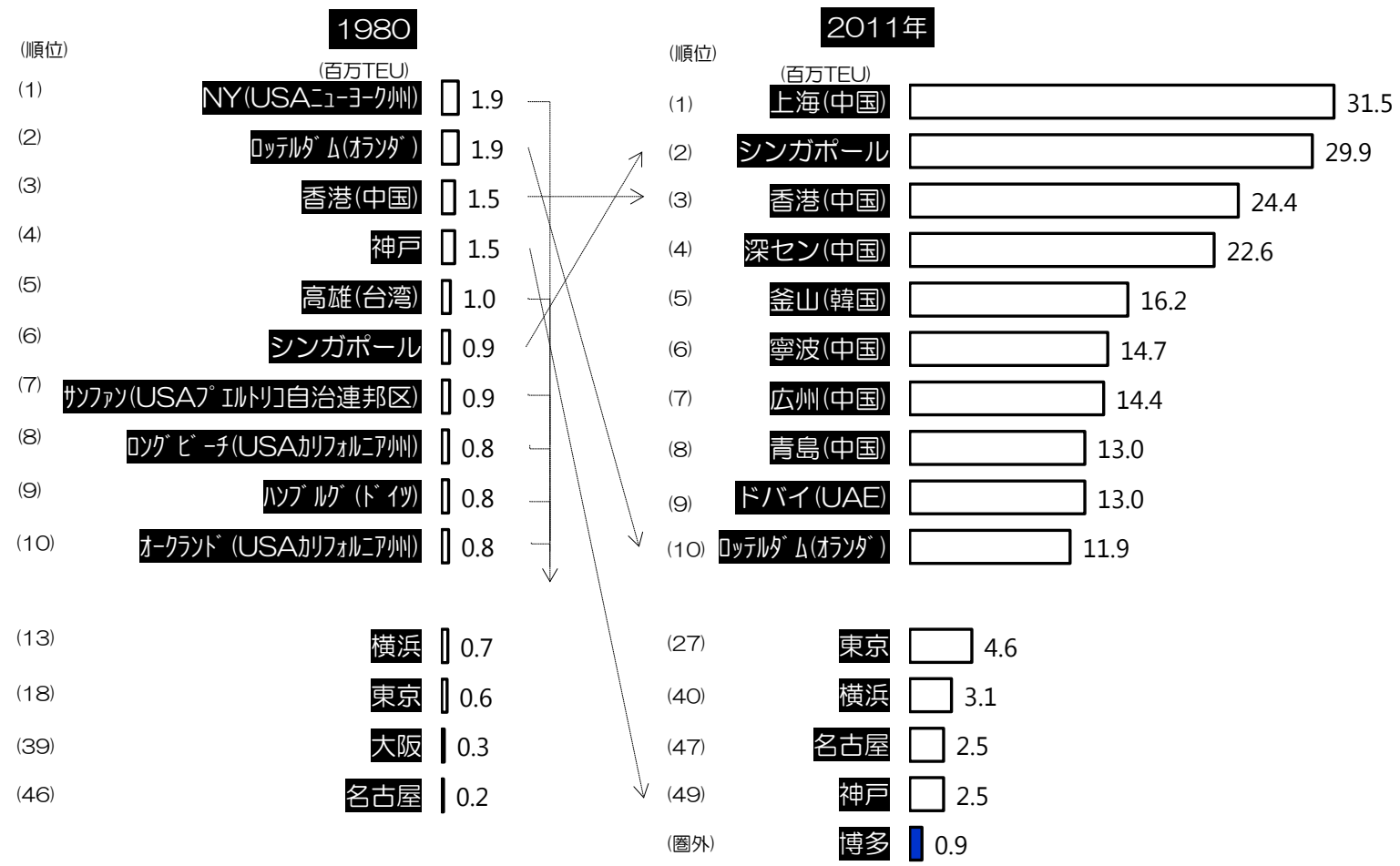
貨物取扱量上位港湾



物流は、世界的にはアジアの台頭がめざましく、特に中国の貨物取扱量、拠点となる港も急増していることがわかります。日本はかつて上位10港に数えられる港もありましたが、相対的な地位は低下しており、博多港も取扱量としてはアジアの各港の規模には及びません。

アジアの各港でコンテナ取扱量が急増

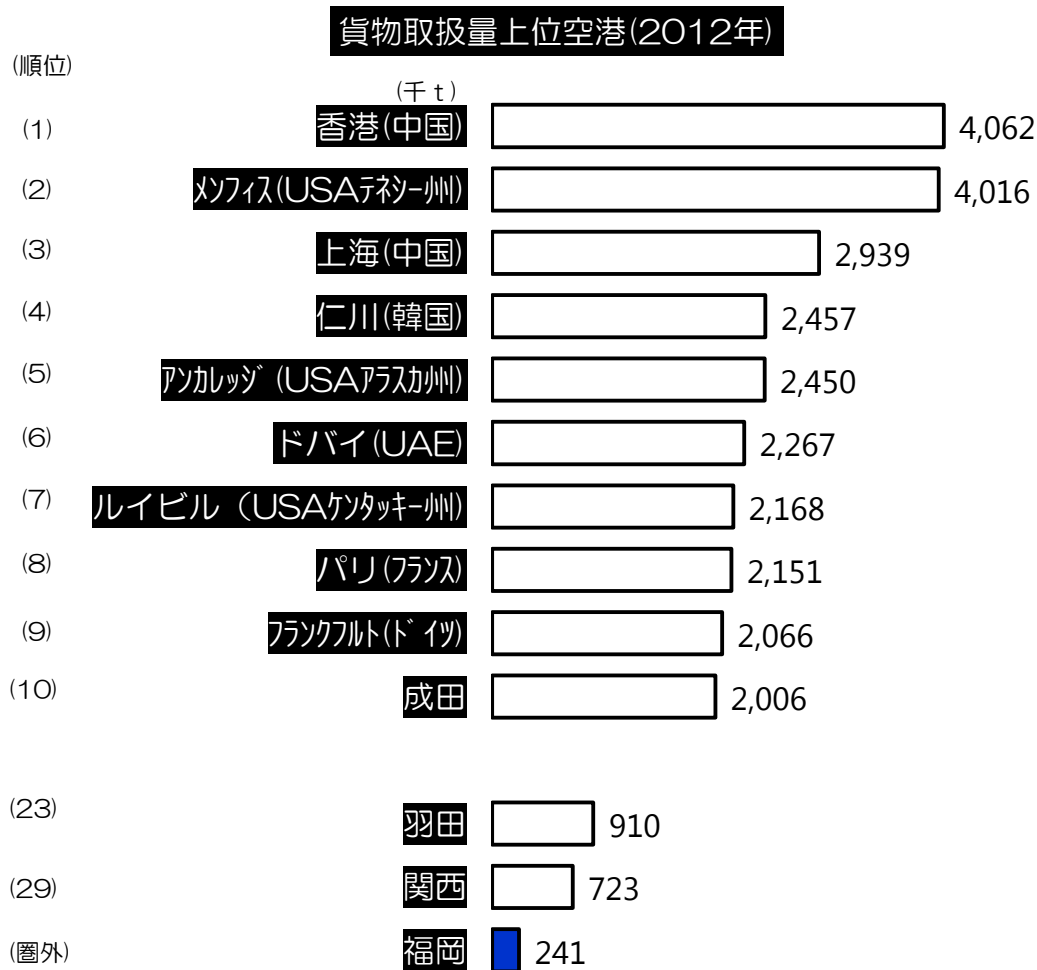
コンテナ取扱量上位港湾



コンテナ取扱量で見ると、中国や韓国の港湾の台頭がさらに顕著で、各港湾とも規模が巨大化していることがうかがえます。

資料：American Association of Port Authorities , World Port Rankings 2011
 港湾統計年報2011（国土交通省）
 *TEU（Twenty-foot Equivalent Unit）：コンテナを数えるときの単位・20フィートコンテナ換算個数
 *NY：New York

航空貨物は中国に加え欧米も多い

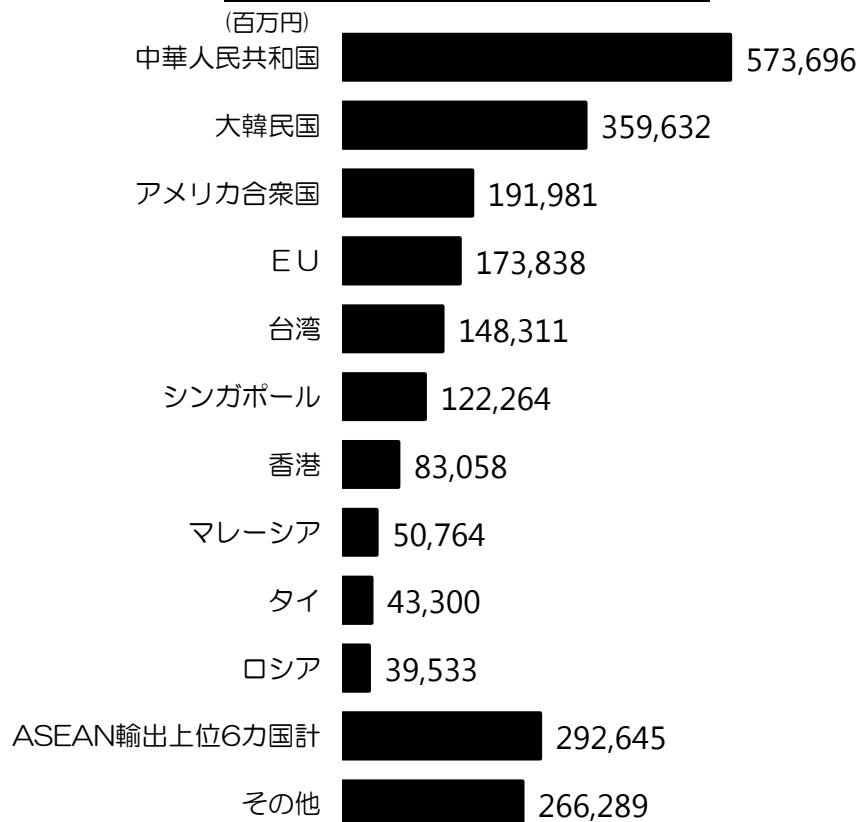


航空貨物は、中国に加えアメリカやヨーロッパの空港も上位に入っています。日本では羽田空港や関西国際空港がやや多くなっています。

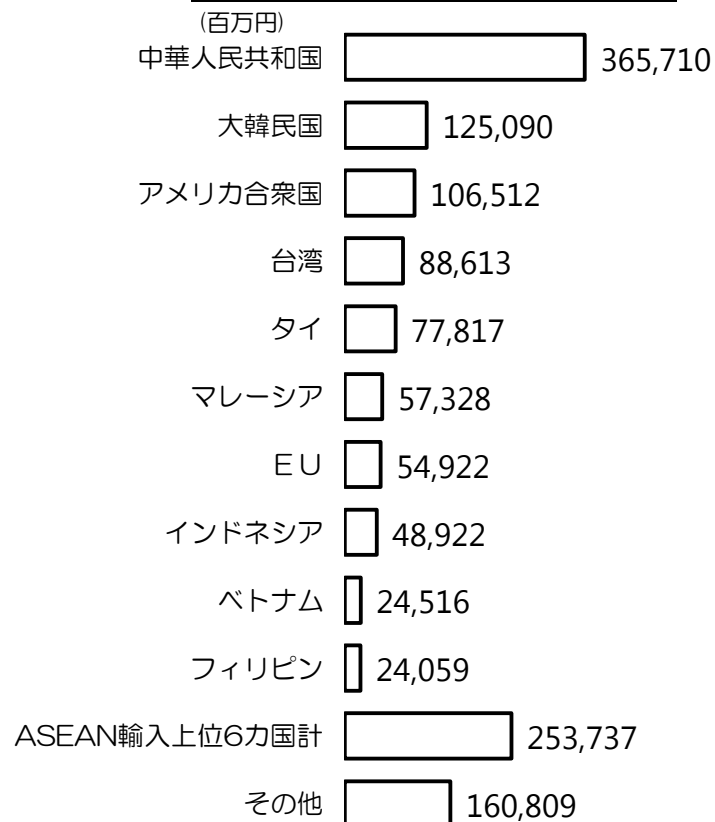
スピーディーな物流が求められるものは航空貨物の利用が中心となるため、民間国際貨物大手のフェデラル・エクスプレスの拠点があるメンフィスやアンカレッジ、同じくUPSの拠点があるルイビルなど、アメリカやヨーロッパの空港取扱量も多くなっています。

中国や韓国、ASEAN、欧米との貿易

国・地域別「輸出額」(2011年)
福岡空港・博多港計

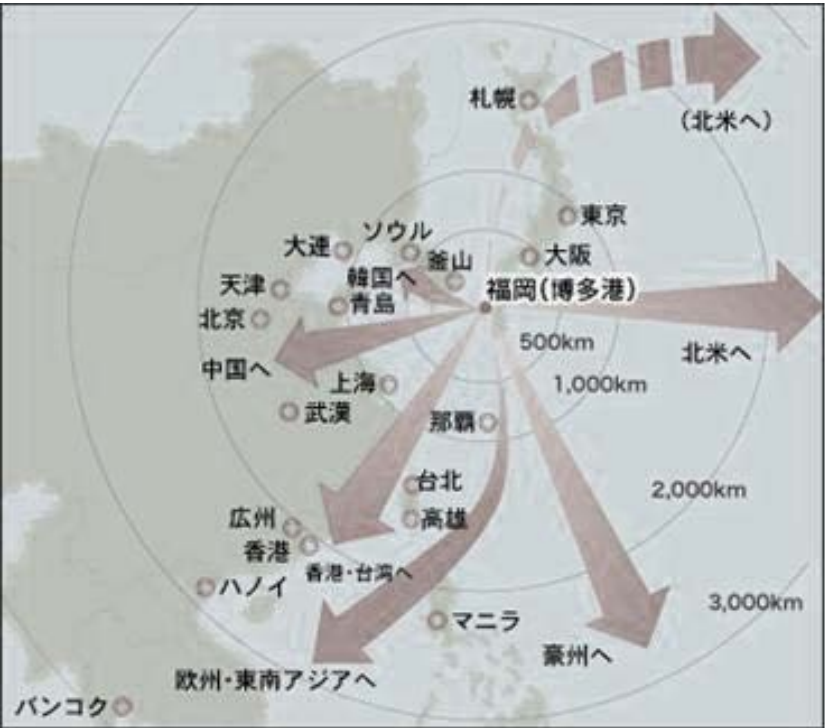


国・地域別「輸入額」(2011年)
福岡空港・博多港計



博多港と福岡空港を合わせた貿易相手国・地域は、中国と韓国が上位となっています。このほか、アメリカやEU、台湾なども多くなっています。また、アセアン諸国を合計すると、中国や韓国に次ぐ規模となります。

日本とアジア・北米・ヨーロッパを結ぶ海上物流拠点・博多港



博多港定期コンテナ航路直接寄港地	
36航路・月間204便、立寄15ヶ国・地域、45港（2013年8月）	
●北米地域	航路1・月4便
・アメリカ	ダッチハーバー、ロサンゼルス、オークランド
●欧州地域	航路1・月4便
・ベルギー	アントワープ
・イギリス	フェリクストウ
・フランス	ルアーブル
・ドイツ	ブレーメルハーフェン、ハンブルグ
・オランダ	ロッテルダム
●東南アジア地域	航路12・月48便
・マレーシア	パシールグダン、ポートケラン、タンジュンペラパス
・フィリピン	マニラ、カガヤン・デ・オロ
・シンガポール	シンガポール
・台湾	高雄、基隆、台中、台北
・タイ	バンコク、レムチャバン
・ヴェトナム	ダナン、ハイフォン、ホーチミン
●北東アジア地域	航路22・月148便
・ロシア	ウラジオストク
・中国	赤湾、大連、香港、連雲港、南沙、寧波、青島、上海、蛇口、太倉、天津、威海、廈門、煙台、塩田、湛江
・韓国	釜山、光陽、馬山、蔚山

2013年5月・国際港湾協会（IAPH） 日本初の「港湾環境賞金賞」受賞

世界最高水準のエコ・ターミナルの実現を目指し、貨物運搬などに使用する機器の技術開発に対する取り組みを評価

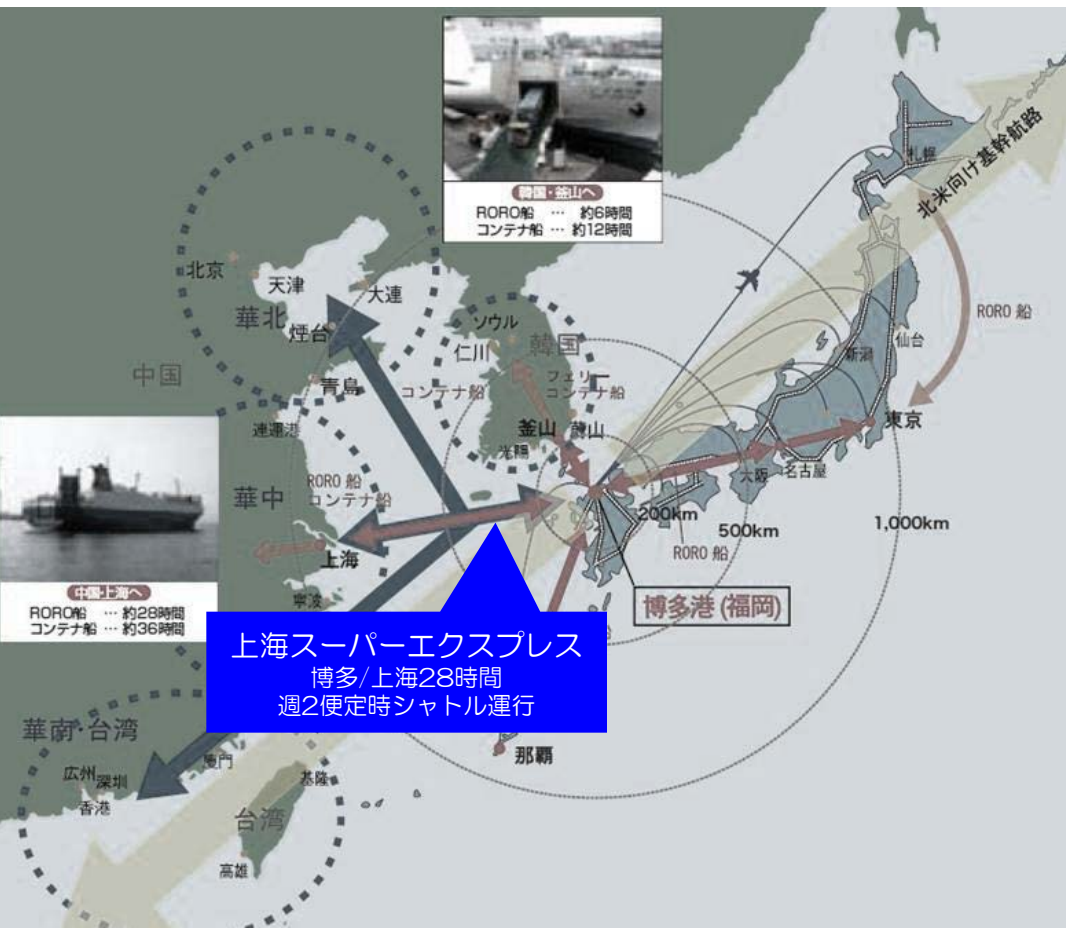
1)CO₂排出量74%削減（年間2,142トン）*約600haの森林年間吸収量に相当
 2)エネルギーコスト68%削減※検証中

博多港には、成長著しいアジア各港への定期コンテナ便をはじめ欧米との定期便もあり、日本とアジア、世界を結ぶ重要な拠点港であることがわかります。

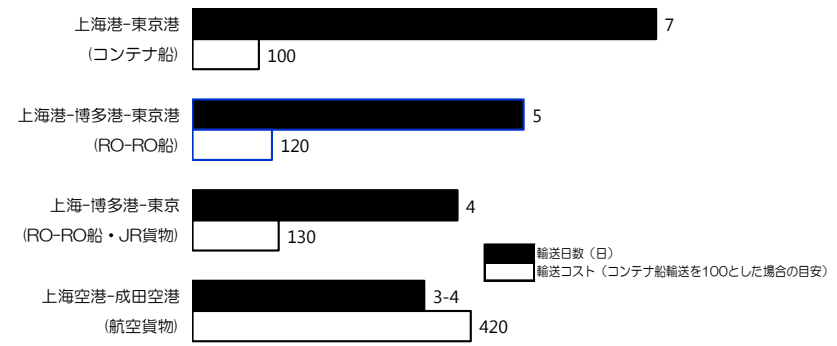
港湾施設の近代化を進めており、先端技術により荷役時間の短縮や環境対応を実現し、5月には国際港湾協会から日本初の「港湾環境賞金賞」を受賞しています。

資料：福岡市（2013年8月）

世界最大貿易港・上海へ28時間の高速RO-RO船。コストと時間で首都圏からもベストなルート



東京ー上海間のリードタイムとコスト比較



- 港湾荷役・検査時間等も含めた大幅な時間短縮を実現
- 1) 陸路空輸へのスムーズなネットワークで航空輸送のリードタイムに迫るスピード
 - 2) 大型X線検査装置で税関検査時間大幅短縮 2h → 15分
 - 3) 国内初の先端港湾物流システムHiTSver.3でコンテナ・ターミナル貨物搬出入5~10分
 - 4) 入出港・船舶荷役24時間対応

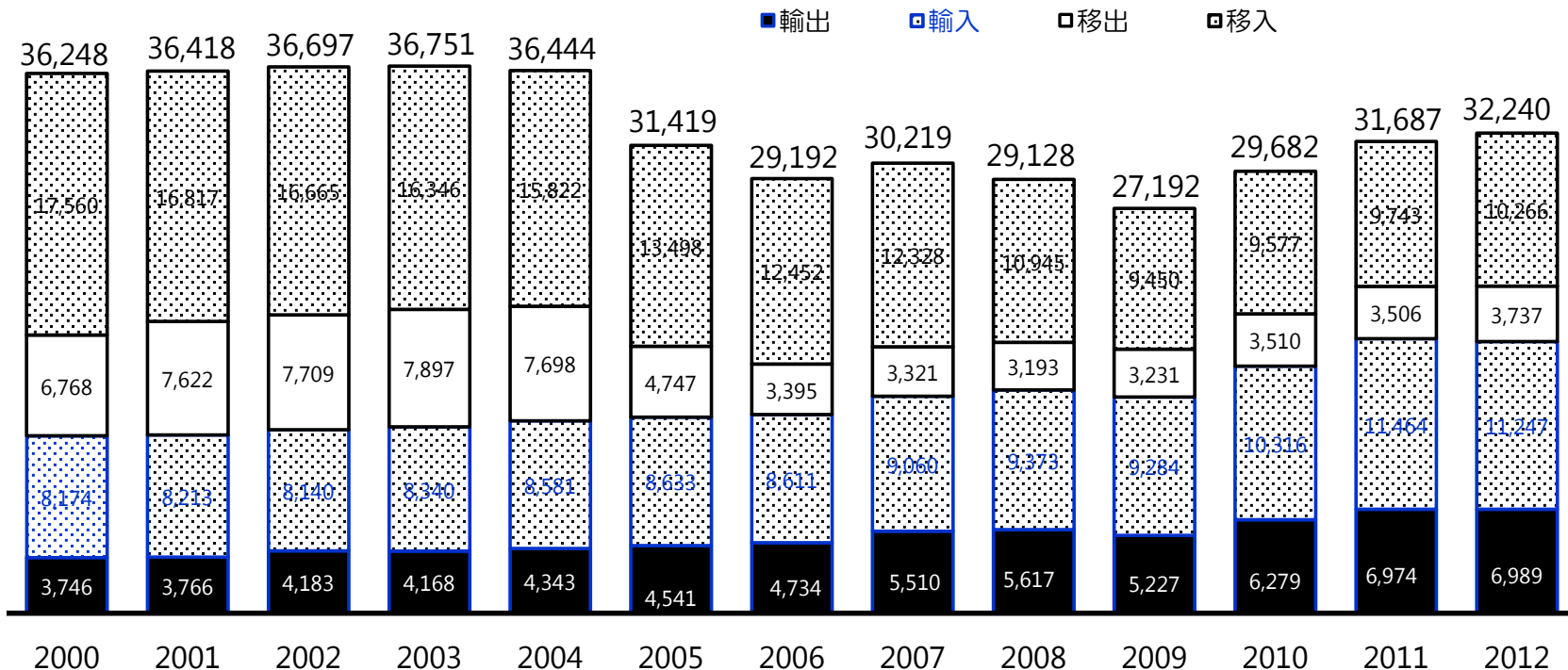
世界最大の貿易港・上海へ、博多港から28時間で結び高速RO-RO船が定時シャトル便として就航しています。荷役や検査時間の短縮化なども合わせて、各都市での陸路も含めたリードタイムは、航空機並に短縮化が図られています。輸送料は航空機と比較して安価で、所要時間を含めて総合的にみると、福岡市や九州だけでなく、首都圏からの輸送でも優位性があり、今後もさまざまな活用が期待されます。

資料：福岡市港湾局（2013年8月）
 *RO-RO船：roll-on/roll-off ship. ロールオン・ロールオフ船の略。貨物を積んだトラックが自走で入船できる貨物専用フェリー。貨車ごと荷物を運べるため、荷役時間が短く、航空機より大量に、コンテナ船より速く運ぶことが可能

増加を続ける博多港の国際貨物量

博多港における取扱貨物量推移

(千t)

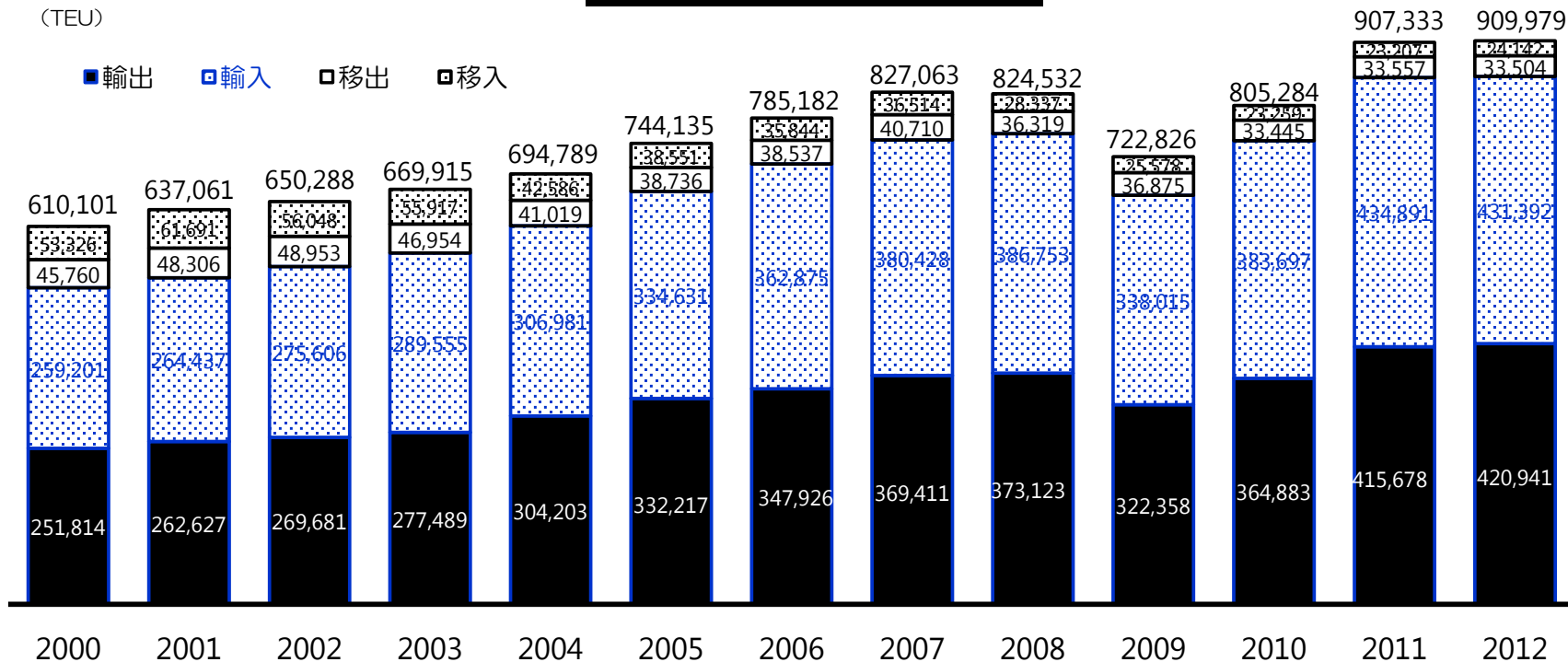


アジア地域の物流量の増加に合わせて、博多港の輸出入貨物量も増加傾向にあります。RO-RO船など今後も日本とアジア地域を結ぶ重要な航路として、物流量の増加が見込まれます。

2005年に取扱量が急減したのは、トヨタ自動車九州工場が新門司自動車物流ターミナルを新設し、積出港湾拠点を博多港から移した影響が大きくなっています。

増加傾向が続く博多港取扱コンテナ量

博多港におけるコンテナ取扱個数推移



博多港のコンテナ取扱利用は、世界同時不況後も順調に回復し、増加傾向が続いており、100万TEU規模に近付いています。

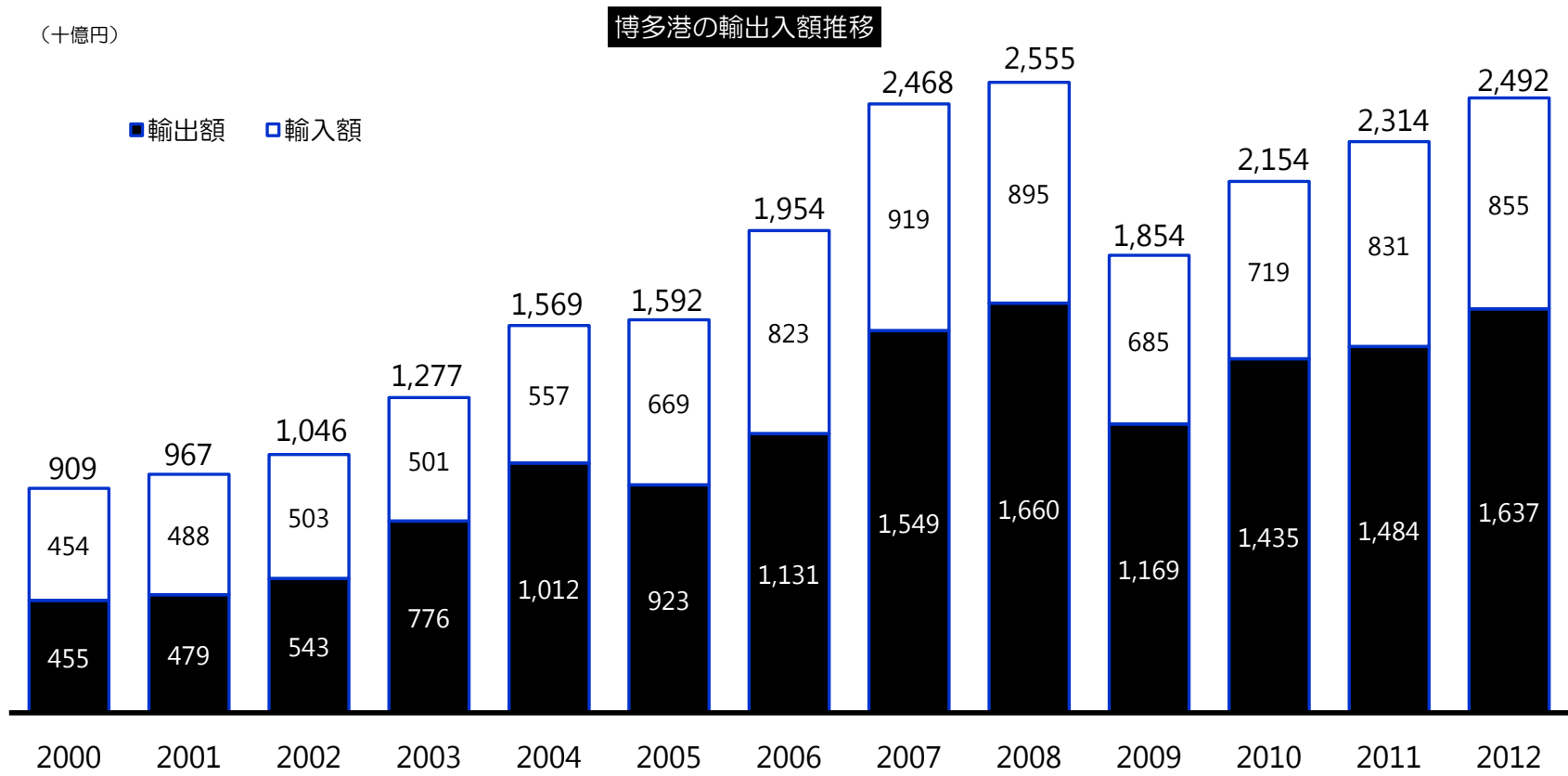
資料：博多港統計年報（福岡市）

*2012年は速報値

*輸出入には国内他港積替フィーダー移入を含む

*TEU（Twenty-foot Equivalent Unit）：コンテナを数えるときの単位・20フィートコンテナ換算個数

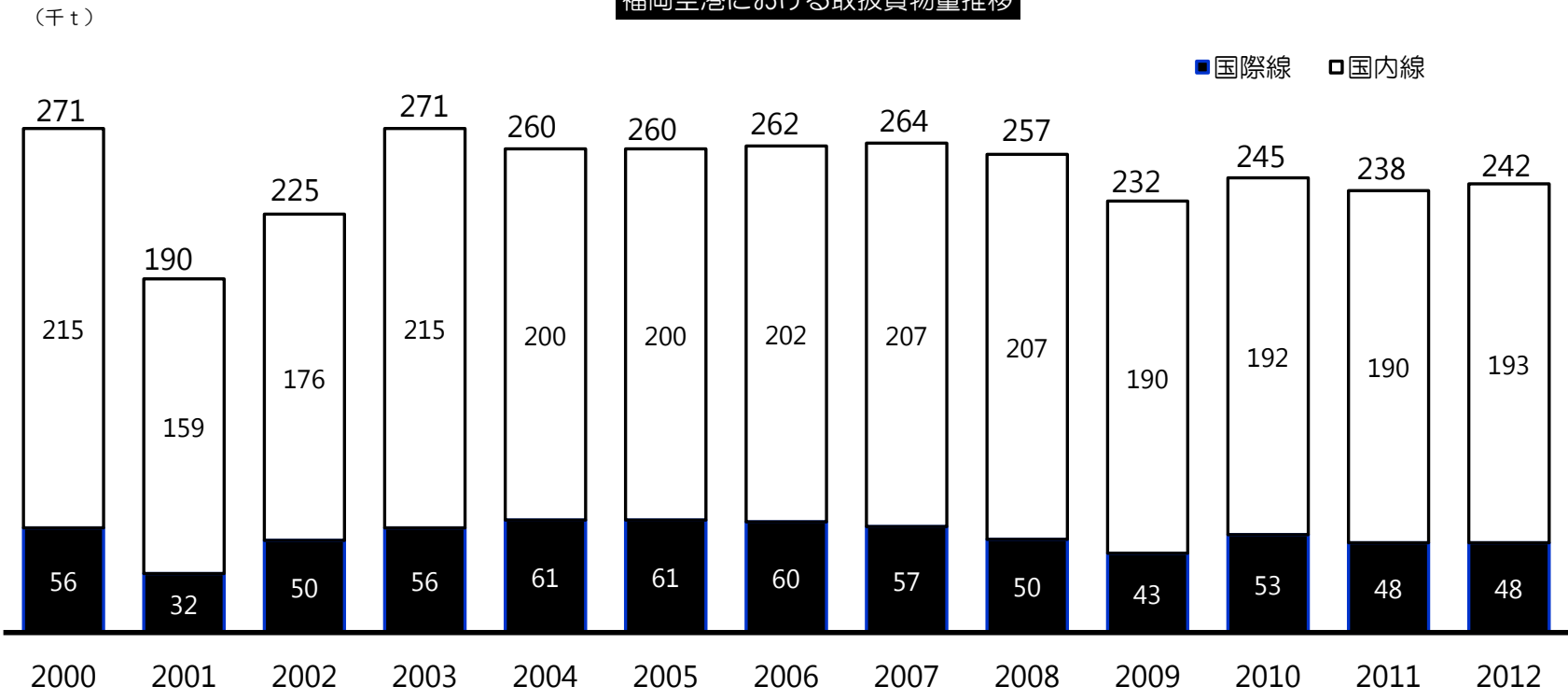
博多港貿易額約2兆5000億円



博多港の貿易額は2兆円を超え、特に輸出額が増加傾向にあります。

国内線中心の取扱貨物量

福岡空港における取扱貨物量推移



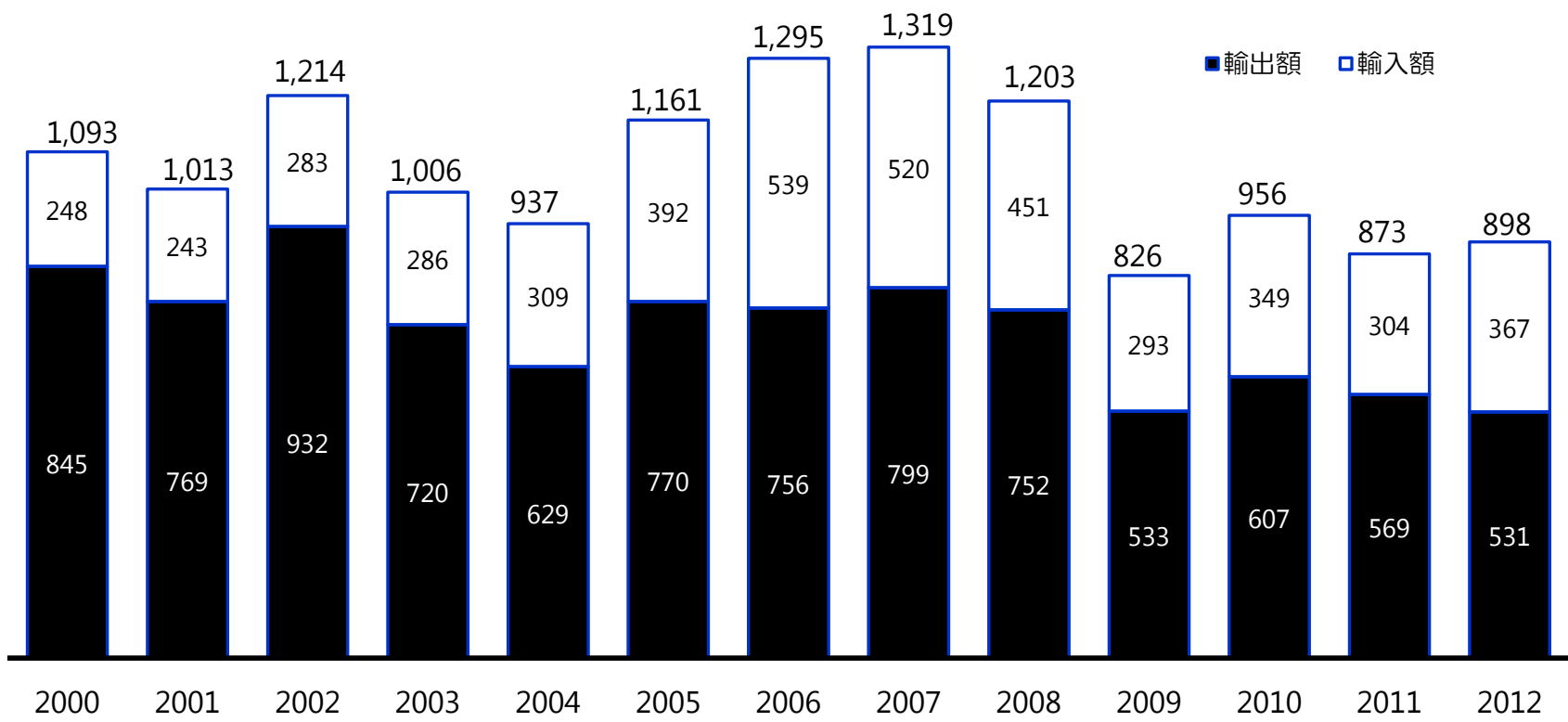
福岡空港の取扱貨物は国内貨物が中心となっています。

資料：福岡市「博多港統計年報」、国土交通省大阪「航空局空港管理状況調査」
 *2012年は速報値

福岡空港貿易額約9000億円

(十億円)

福岡空港の輸出入額推移



福岡空港の貿易額は1兆円近くで輸出額が多くなっています。

資料：門司税関「外国貿易年表」